



國學院大學
栃木中学高等学校
〒328-8588
栃木市平井町 608
☎(0282)25511
校報委員会

〈5月の行事予定〉

- 2日 全校朝礼(中・高)美化の日(高)
- 7日 授業参観 父母懇談会 父母総会(中)
- 10日 安全運転講習会(高)
- 11日 検尿(中・高)
- 19日～23日 中間試験(中3年)
- 20日～23日 中間試験(中1・2年)
- 21日 父母会総会 授業参観(高)
- 教育実習打合せ(中・高)
- 23日～25日 中間試験(高)
- 25日 先輩招待進学説明会(高)
- 27日～29日 自然体験学習(中)
- 30日 教育実習開始(中・高)
- 31日・7月1日 校内競技大会(高)

平成二十三年年度(五十二期) 入学式式辞

自ら学ぶ姿勢を持って

高等学校長 影山 博

平成二十三年四月六日(水)、午前九時三十分より、創立四十周年記念館にて、第五十二回高等学校入学式が挙行された。

輝くような陽春のこの佳き日に、國學院大學栃木学園理事長木村好成先生のご臨席のもと、多数のご来賓並びにご父母をお迎えして、國學院大學栃木高等学校第五十二回入学式を盛大に挙行出来ますことを大変嬉しく思います。

四三三名の新入生の諸君、入学おめでとう。高等学校を代表して、諸君の入学を歓迎いたします。ご父母の皆様にも手塩にかけて育てられたご子女の様子をご覧になられて、お喜びも一入ることと拝察いたします。

建学の精神のもとに

さて、本日の入学式にあたり、校長として大切なことを三点ほど申し上げておきます。

まず第一は本校が私立学校であるということ。諸君は当たり前のように思っているかも知れませんが、実はこのことが非常に大切なのです。私立学校はどのような教育を行うか、どのような人材を育てるのか、という明確な目的や理念をもって設立されるものなのです。私学はこうした独自の

の精神を高く掲げて教育を行っていますが、これを「建学の精神」と言います。本校の歴史は栃木市と栃木県神社庁関係者の要請を受けた國學院大學によって昭和三十五年に設立されたことに始まります。國學院大學の前身である皇典講究所の創設は明治十五年、西暦一八八二年ですから、國學院大學は今年が創立一

九十年となります。また、大正七年の大学令によって大学となった最も古い私立大学八校のうちの一つです。皇典講究所の開塾式に臨まれた初代総裁有栖川宮職仁親王は告諭において、「國體の講明」と「徳性の涵養」を永久不変の進路とするようにと説かれたのです。意

味するところは、我が国の歴史や文化・伝統をよく知り、人格・品位を向上させ、真の日本人になりなさいということ。また、おおよそ学問というものはなによりも基礎・基本が大切であるとも申されています。これが國學院大學の建学の精神です。本校は國學院大學の附属高校として設立されましたので、この精神が國學院大學栃木高等学校の建学の精神でもあるわけです。

本校を理解し、その教育に賛同して入学したと思えますので、三年間の間にこの建学の精神の意味するところをしつかりと身につけて卒業されることを期待しています。

頭・心・体の力を

第二は諸君が本校で受ける教育についてです。本校は創立以来、「頭」「心」「体」の力の調和があつて真の本校生に成り得るとの考えから、この三つの力を鍛える教育を標榜して、生徒の指導にあたつています。

「心の力」と「体の力」は先ほどの建学の精神で述べた「徳性の涵養」にあてはまりません。この精神を簡明に表現したのが校訓です。学園入り口に架かる橋を渡り、坂を上ると右側の植え込みの中に「校訓の碑」が建っており、「たくましく、直く明るく、さわやかに」の文字が彫り込まれています。どんな困難にも挑戦する逞しい精神力、素直な心で先方の教えに従い、一点の曇りもない晴れやかな心で物事に対応し、すがすがしく気持ちのよい人間になるということ(二面に続く)



影山博高等学校長 式辞を述べ

本校はこの建学の精神を教育の指針・目標として、今日に至るまでの五十年間、ひたすらに実践してきたのです。諸君は私学としての

ことです。本校では、しっかりと勉強してもらいます。「授業が第一」ということから、授業に集中して、理解し、納得して知識を身に